第 24 回松陰　ジュニア洋上スクール to 東京・富士山

2015. 8. 22-28　　主催　ＮＰＯ法人　森と海の学校

宇部日報　２０１５年〈平成２７年〉　９月４日 金曜日

船旅、富士登山、大臣室、研修活動など

109人が心を磨く

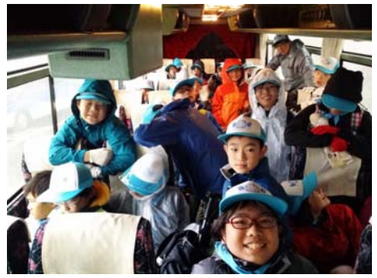
第24回ジュニア洋上スクール

元祖７合目で記念撮影する参加者たち（富士山で、提供）

NPO法人森と海の学校（岡村精二理事長）主催の「第24回ジュニア洋上スクールｔｏ東京・富士山」はこのほど、6泊7日の日程で実施された。小学3年生から中学3年生までの児童・生徒93人とスタッフ16人の計109人が参加。集団行動による船旅や登山、恒例の「父母からの手紙」研修などを通じて心を磨き、ひと回り成長した面持ちで帰郷した。

8月22日夕方に福岡県北九州市の新門司港からフェリーで東進。東京到着は3日目朝で、そのまま都内を見学した。国会議事堂では地元選出の河村建夫衆院議員が出迎え、議場などを案内。農林水産省では、地元参院議員の林芳正農林水産大臣を訪ね、子供たちは初めて見る現職大臣と大臣室に、最後まで緊張したままだった。

富士登山は26日。雨の中、午前6時半に5合目から山頂を目指して出発した。10時には標高3010㍍の元祖7合目に到達したが、風速が15㍍を超えるようになったため、随行の山岳ガイドの助言を受けて引き返した。27日はディズニーリゾートで自由行動、最終日に新幹線で戻った。

登山を前に宿泊施設で実施された「父母からの手紙」では、事前に伝えられていなかった保護者からの手紙に子供たちは驚き、文字を通じて伝わる愛情に涙しながら、今後の自分の生き方を考えていた。

江藤修三団長は「楽しいときは共に笑い、船酔いや雨の中の登山など苦しい場面では励まし合っていた。この経験はきっと今後の人生に役立つと思う」と話していた。参加した空野郁奈さん（桃山中2年）は「友達がたくさんできたのが一番の思い出。富士山は残念だったけど、絶対にまた挑戦する」と話していた。